令和６年１月１日

体協だより

（第 31 号）

発行／一般社団法人小平市体育協会
発行責任者／荒武宗昭　（編集／広報部会）
連絡先／042-349-1350(体育協会事務局)
ホームページ/https://kodaira-sa.org/

小平市教育委員会教育長 新年ごあいさつ

教育長　青 木 由美子

新年明けましておめでとうございます。小平市体育協会及び加盟団体の皆様には健やかに新年を迎えられたこととお喜びを申し上げます。私こと、一昨年３月に市内中学校長を定年退職し、昨年４月より教育長として小平市の教育行政を担うこととなりました。現職中は皆様には大変お世話になり、この場をお借りしまして改めて御礼申し上げます。昨年は、３年を超えるコロナ禍を経て、新型コロナウイルス感染症が５類へと移行され、市民スポーツまつりを始め、様々なイベントがコロナ前と同じような規模で開催することができました。しかしこの間も、小平市民のスポーツの機会をいかに継続できるかと、皆様が大変な知恵と努力で進めてきてくださいましたことに深く感謝申し上げます。さて、中学校の部活動については多くの議論がなされ、小平市教育委員会といたしましても、中学校部活動の地域連携・地域移行に向けて現在検討を続けております。今後の子どもたちの活動の場・活躍の場を絶やさず確保していくためには、地域の皆様のご協力やご支援が必要です。是非とも貴協会との連携を強化しながら、持続可能な部活動を目指していきたいと思います。何卒よろしくお願いいたします。人生１００年時代ともいわれていますが、その生涯を健康に過ごしたいものです。そのためには、身近な体力づくりを日常的に取り組んでいくことが大切でしょう。私も４０代頃からランニングを始めて、ハーフマラソンやフルマラソンにも何度か挑戦しました。決して早くは走れませんが、完走した時の爽快感や達成感は格別です。仲間とのつながりなども大切にこれからも継続していきたいと思っております。結びに、小平市体育協会及び加盟団体のますますの発展と、会員の皆様のご健勝・ご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

小平市体育協会会長 新年あいさつ

会　長　荒 武 宗 昭

体育協会関係者の皆様、新年おめでとうございます。昨年中は当協会の各種イベント等に多大なご協力を頂き誠に有難うございました。　長かった新型コロナウイルス感染症からもやっと解放される時期がやって来ました。

今年は、甲辰（きのえたつ）と言う事で、「甲」は草木の成長を表す意味があり、植物が成長するようにどんどん勢いを増して行くという意味があるそうです 。勢いと言えば、１９６４年の東京オリンピック開催の年も甲辰だったそうです。東京モノレール開業、東海道新幹線開通、日本武道館開館など、人が国境を越えて行き来し、新しい技術が広く使われるようになった年でもありました。

今年も同じように、パリオリンピックが開催されます。世界中の人達がスポーツを通し、笑顔で集まり、交流出来る平和な世界を願わずにはいられません。

さて、当体育協会は、今年４月に長年使ってきました、「小平市体育協会」と言う名称を「小平市スポーツ協会」に変更することが社員総会において決定しております。

昭和３３年度にわずか５団体で創立しました当協会も現在３３団体にまで増えています。今年で６６年目を迎えますが、これからも皆様と共に、長い歴史や伝統をしっかり継承しつつ、新しい「小平市スポーツ協会」へと舵を切っていきたいと考えております。

国のほうでも、今年の佐賀県開催の「国民体育大会」から、名称を「国民スポーツ大会」に変更していくことが決まっています。　「国体」から「国スポ」へと時代が移り変わっていくことになります。

終わりに、体育協会関係者の皆様には、これからも小平市体育協会（スポーツ協会）に対し、今まで以上のご指導・ご協力を頂きますよう心からお願いを申し上げまして新年のご挨拶とさせて頂きます。

第３４回市民スポーツまつり

令和５年１０月８日（日）に第３４回市民スポーツまつりが天候にも恵まれ、また、コロナも２類から５類に引き下げられたためか多くの家族連れの参加が有り、今までにない５，２２４人の来場者を記録しました。屋外では、恒例のストラックアウト、スピードガン、キックターゲットなどのほか、新しくＦＣ東京ダブルスライダーや東京都生活文化スポーツ局によるキックバイクの体験コーナー、屋内でも、恒例の体力測定コーナーやスナッグゴルフ、ユニカールなどのほか東京都生活文化スポーツ局によるバーチャルサイクリングコーナーやパラスポーツの卓球、ボッチャ等の体験コーナー、障がい者スポーツの理解向上のパネル展示をしました。どのコーナーも多くの参加を頂き皆さん楽しんでいました。また、お昼のアトラクションでは、４団体によるダンスパフォーマンス、バトントワリング、チアリーディングを行いたくさんの拍手を頂いていました。

当日、役員として参加された事業部会の皆様及び各団体から選出された役員の皆様に心から感謝申し上げます。

第４５回小平市民まつり

令和５年１０月１５日（日）開催の、市民まつりは、あいにくの雨模様で、パレードの出場団体もほとんどが欠場する事態となりました。体育協会の参加者の中にも子供の数が多く含まれていたため、まずは、健康を第１に考え、パレード参加者には中止の連絡を入れました。

しかし、パレード全体は中止にならなかったため、スポーツ活動団体である体育協会としては、役員だけの参加を決定しました。中止決定が届かず、足を運んでくださった参加者は快く役員と一緒に行進してくれました。

第１回体育協会研修会

令和５年１１月４日（土）市民総合体育館第３・４体育室において、令和５年度第１回研修会が開催されました。参加者数は４９名でした。

『自彊術（じきょうじゅつ）「日本最初の健康体操」を体験してみませんか』と題した体験講座でした。

講師は、公益財団法人自彊術普及会中伝指導員の堀口佐和子先生、古賀弥生先生、荻上ゆみ先生です。自彊術は１００年の歴史を持つ体操で、手技療法と呼吸法により心身の調和を図る体術とのことです。

始めに、自彊術療法の中から①「自分でする顔こすり」、②「自分でする足もみ」を体験しました。

次は自彊術３１の動作の中から７動作（１・２・３・４・１６・２４・３１）を体験しました。

最後は③「腹もみ」体験でした。

体験後、参加者の皆さんは「気持ちよかった」との感想を述べられていました。

第４８回小平～多摩湖歩け歩け会

令和５年１１月１２日（日）に第４８回小平～多摩湖歩け歩け会が曇り空の肌寒い気候の中開催されました。

このイベントは狭山・境緑道を通り多摩湖を目指すウォーキングイベントです。

スタート地点が花小金井南口駅、小平駅南口、萩山駅北口の３か所あり体力に合わせて距離を調節することができます。

最長距離は花小金井駅南口からの約８．６キロのコースです。小平駅南口からは約６．０キロ、萩山駅北口で約４．９キロと、どこの地点も駅から至近の距離でスタートできます。

参加者数は総勢３２１人、老若男女の皆さんが、家族、仲間と一緒に参加してくれました。

当日はノルディックウォーキング教室も開催されました。ノルディックウォーキングは２本のポールを使って歩く全身運動です。ポールを左右同じ長さに調整することで、肩の高さが左右揃い、バランスを崩しにくくなります。 さらに背筋が伸びることで、膝腰の痛みが軽減され、姿勢の改善効果も期待できます。

希望する方へノルディックポールの貸し出しも行われました。

多摩湖の堤防を歩いて来ると、渡り切ったその先にゴールが見えてきます。ゴールした時の爽快感は格別です。

第４９回少年少女マラソン大会

令和５年１１月１９日（日）秋晴れの中、毎年恒例の第４９回少年少女マラソン大会が中央公園競技場及び外周コースで行われました。

本大会は５３５人の申込があり、当日は４４９人の参加の下、小学校３年生から６年生の学年、男女別に１５レースに分け、声出し応援も解禁され、数多くの先生や保護者の方々の応援のもと、白熱したレースが展開されました。

小林市長、松岡議長、青木教育長には、いくつかのレースのスターターをお願いし、表彰式についても市長、議長、教育長をはじめ教育委員の皆様にもご協力を頂き、入賞者の健闘を称えてもらいました。この大会は、もともとは、市教育委員会が所管していたものを、平成２６年に体育協会が譲り受けた事業のため、当日は、多くの校長先生方も応援に駆けつけてくれます。この選手の中から、将来のオリンピック選手が誕生することを期待し、毎年、大きな夢が膨らむ大会となります。

大　会　成　績

小平市ソフトテニス連盟　（２０２３年度秋季市民大会）

種　目	優　勝	準優勝	第三位
個人戦一般男子　10/15	前川和輝　若月　楓	藤田義嗣　森　雅隆	加藤立樹　野口慶人 小山慎二　矢口　成
個人戦一般女子　10/15	山中一希　高島萌果	北村風栞　戸嶋あいみ	
個人戦シニア男子1部　9/10	小野貴史　小林秀保	笹埜桂一　佐藤宏明	高橋尚紀　榎本壮平
個人戦シニア女子1部　9/10	山本育美　鈴木明子	河野由里子　高木富美子	
個人戦シニア女子２部　9/10	広瀬恵美子　渡部紀美	山田江美　染谷成子	高橋千恵子　内藤文枝
団体戦男子２部　9/17	愛好会		
団体戦女子２部　9/17	小平クラブ	小平きままクラブＡ	
団体戦男子１部　9/24	KINGU	矢口組	チームＷ

小平市弓道連盟　（２０２３年秋季市民大会　１０月２２日）

種　目	優　勝	準優勝	第三位
霞的１部(3 段以下)	渋谷　有希乃　(6 中)	山本　通彦　(5 中)	船谷　知美　(5 中)
霞的２部(4 段以上)	八木　直子　(9 中)	尾滝　義行　(8 中)	柳沼　一夫　(7 中)
色的１部(3 段以下)	三浦　和子　(44 点)	山本　通彦　(43 点)	渋谷　有希乃　(38 点)
色的２部(4 段以上)	尾滝　義行　(36 点)	和田　満男　(36 点)	木津　顕　(33 点)

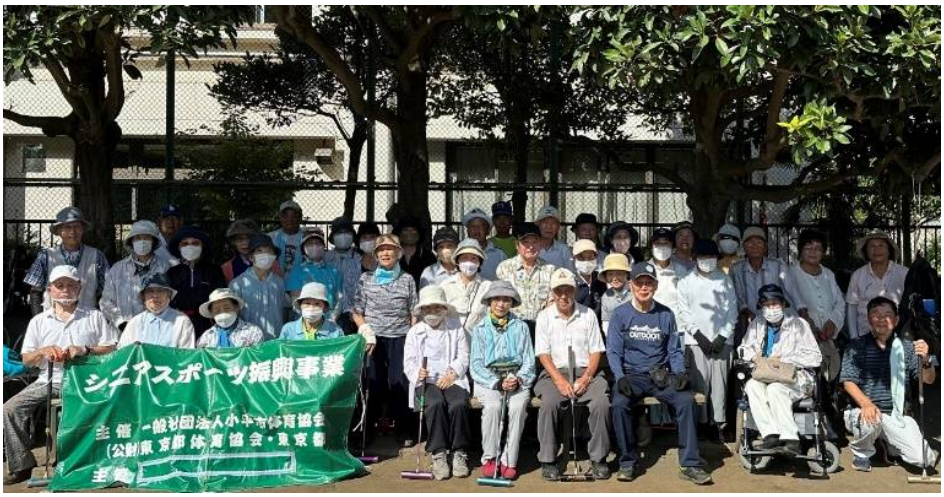
小平市テニス協会　（２０２３年秋季小平市民テニス大会）

		優　勝	準優勝	第三位	第三位
男子	A級	木村　奨　(フリー) 野田　樹力　(フリー)	井上　開登　(フリー) 高野　湧介　(フリー)	枝廣　憲　(小平 TC) 狩谷　大樹　(小平 TC)	長谷部　翔　(フリー) 長谷部　慎　(フリー)
	B級	富海　亮太　(フリー) 黒田　幸宏　(一橋大学)	貫井　栄男　(フリー) 小川　篤史　(フリー)	安岡　雄大　(フリー) 松下　剛　(フリー)	吉田　和生　(月花美人) 植竹　裕　(月花美人)
女子	A級	木村　凪葉　(フリー) 佐藤　歩　(小平 TC)	小暮希美子　(小平 TC) 長谷部杏幸　(フリー)	堀　奈津美　(ブリヂストン) 鶴田貴穂子　(ブリヂストン)	奥本　法子　(BIGBOX) 牧窪としえ　(BIGBOX)
	B級	宮田真由美　(YT テニススクール) 向井由美子　(YT テニススクール)	佐藤　美妃　(YT テニススクール) 佐藤　舞奈　(フリー)	帖佐　実音　(ロンド) 早坂　由佳　(フジノ)	菅野　里咲　(YT テニススクール) 松田ひろみ　(YT テニススクール)
ミックス	A級	松本　光平　(ブリヂストン) 堀　奈津美　(ブリヂストン)	枝廣　憲　(小平 TC) 枝廣奈津子　(小平 TC)	磯部　貴一　(フリー) 磯部　里咲　(フリー)	安光　悠人　(4U) 関口　侑花　(4U)
	B級	貫井　栄男　(フリー) 安達　彩夏　(フリー)	木戸　昂明　(フリー) 木戸紗矢香　(フリー)	佐々木　敬　(フリー) 佐々木名世　(フリー)	加藤　侑豊　(フジノ) 藤本　聖子　(フジノ)
男単	A級	井上　開登　(フリー)	四ノ原冬徒　(サンテック)	狩谷　大樹　(小平 TC)	枝廣　憲　(小平 TC)
	B級	松井　翔　(小平二中)	加瀬　哲也　(フリー)	泉山　直己　(フリー)	本橋　雅之　(フリー)
女単Ａ		宮下　華子　(サンテック)	堀　奈津美　(ブリヂストン)	森川　美絵　(4 U)	関口　侑花　(4U)

小平ゲートゴルフクラブ

大会名		優　勝	準優勝	第三位	第四位
140回クラブ大会 8/28　中央公園　樹林帯	男子	吉井　宏允	滝澤　照夫	矢崎　　好	
	女子	小林　弘子	齋藤　英子	市川　博子	松平　容子
秋季シニアスポーツ大会 9/14　花小金井南市民広場	男子	塚田　金也	遠藤　哲雄	広瀬　義隆	
	女子	平田　江津子	市川　博子	児島　明子	藤森　節子
141回クラブ大会 10/16　中央公園　樹林帯	男子	吉井　宏允	兼子　松次	塚田　金也	
	女子	児島　明子	齋藤　英子	松平　容子	福留　いく子
142回クラブ大会 11/9　花小金井南市民広場	男子	吉井　宏允	塚田　金也	滝澤　照夫	
	女子	国分　敦子	小林　弘子	福留　いく子	藤森　節子
143回クラブ大会 12/11　中央公園　樹林帯	男子	吉井　宏允	矢崎　好	寺本　昭博	
	女子	児島　明子	福留　いく子	齋藤　英子	大迫　幾子

９月１４日　秋季シニアスポーツ大会　花小金井南市民広場



小平市ゲートボール連盟　聴覚障がい者ゲートボール体験大会

（２０２３年１０月２９日　福祉会館前市民広場）

聴覚障がい者５名、手話サークルスタッフ９名、手話通訳１名のゲートボール体験大会が行われました。
東京都ゲートボール連合の小泉理事長を始め多くの方の応援もいただく中で無事開催されました。

小平市アーチェリー連盟　第２２回 西ブロック親睦大会

２０２３年１１月１２日　都立小金井公園弓道場

種　目	順　位	選　手
ＣＰ 50×30m 男子	４位	近藤　均
ＲＣ 50×30m 男子	２位	網野　永芳
	６位	陶　亦然
	８位	萩野谷　拓
ＣＰ 30×30m 女子	２位	内藤　洋子
ＲＣ 30×30m 女子	１位	中島　まり子
	８位	黒木　里美
ＢＢ 30×30m 女子	１位	沈　培培
ＲＣ 30×30m 男子	１位	保坂　恵司
	９位	加藤　稔

第６１回市民スポーツ大会 第４３回市民アーチェリー大会
２０２３年１１月１９日小平市民総合体育館弓道場

種　目	順　位	選　手
初心者の部	１位	岡本　瑠実子
ＢＢの部	１位	瀋　培培
ＣＰの部	１位	祝迫　修
	２位	内藤　洋子
ＲＣ　チャンピオンフライトの部	１位	保坂　恵司
	２位	網野　永芳
	３位	萩野谷　拓
ＲＣ Ａフライトの部	１位	陶　亦然
	２位	長岡　健生
	３位	黒木　里美

※編集後記　この体育協会だよりは、広報部役員の取材・寄稿をもとに作成しています。